

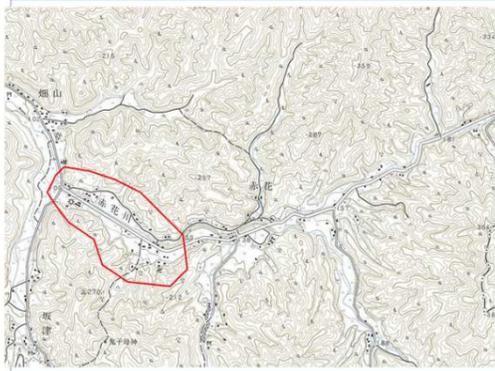
隣接地区からの回り込みを阻止！！

～豊岡市但東町赤花区主計農会の取り組み～



地区の概要

全戸数	22戸
農作業従事戸数(家庭菜園含む)	6戸
専業農家	1戸
農地面積	約8ha
生産目的	そば原料
集落営農	有(集落農場型)
生産組合	有(赤花そばの郷生産組合)



主計農会は豊岡市但東町資母地区に位置する赤花区にある4つの農会の中の一つ。地域に自生する赤い花のソバを村おこしに活用して、「赤花そばの郷」を拠点に集客することで地域の活性化を図っています。

これまでの対策

1990年頃

集落柵の設置

シカ、イノシシの被害が深刻化し、集落全体を囲うネット柵を設置

2002年頃

他地域に先駆けて集落全体を囲う金網柵を設置。

集落内の各ほ場は電気柵によって防御し、農会を中心に電圧の管理体制を整備、環境整備、捕獲対策を強化。

2011年

隣接集落からの回り込み対策を実施

但馬県民局事業を活用し、集落勉強会の開催、集落環境調査の実施、柵管理体制、捕獲体制の強化に取り組む。併せて、隣接地区からの回り込み対策として隣接地区内に網柵を設置。

ここに注目！

隣接地区からの回り込み対策



但東ダム



主計

網柵の北端は但東ダム入り口とし、南端は金網柵と連結して、シカの侵入経路を遮断。シカが但東ダムに上がる道沿いを移動しようとしても、集落までの距離を大幅に延長することにより、侵入個体を減らした。ステンレスワイヤ入りの高さ2mのものを使用。

金網柵の徹底管理、潜み場の解消、捕獲など、総合的な対策を取ってきたが、隣接地区から道路を通っての回り込みが課題として残っていた。隣接地区と調整を行い、畑山区内に網柵を445m設置することにより、回り込みを無くすことに成功した。

獣害をなくして、そばの郷づくり



シカの食害を受けていない正常なソバの花

従来の金網柵や電気柵に加え、隣接地区内に網柵を設置し、シカの侵入が無くなりました！

取り組みの成果と課題



隣接地区内での網柵の設置が期待通りの効果を発揮し、長年の懸案であった回り込みによるシカの侵入は今のところ解消している。



金網柵の管理については、点検回数を増やし、クマの乗り越えによる柵のゆがみを速やかに補修するなど、シカの飛び込みルートを作らせない体制ができた。電気柵の適正管理推進と併せ、高い防御効果を出している。



柵内の荒廃地が、新入したシシやシカのねぐらになっており、被害の原因となる。これらの速やかな捕獲と、荒地の解消に取り組むことが必要と考えられる。

センター講評

防護柵、捕獲、環境整備、誘因物除去など総合的に取り組まれています。隣接地区に設置した防護柵は地域の内の合意のみならず、隣接地区との調整も必要であり、役員の方々の努力の結果と言えます。そばの郷としての地域活性化の取り組みと併せ、集落ぐるみの獣害対策の優良事例と言えます。

